



2021年11月8日

各 位

上場会社 東京産業株式会社
代表者 代表取締役社長 蒲原 稔
(コード番号 8070)
問合せ先責任者 企画本部長 浅田 泰生
(TEL 03-5656-0364)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,000	百万円 900	百万円 1,000	百万円 700	円 銭 25.65
今回修正予想(B)	29,500	1,350	1,600	1,100	40.51
増減額(B-A)	△500	450	600	400	
増減率(%)	△1.7	50.0	60.0	57.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	49,632	888	1,085	668	24.82

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、収益認識会計基準等の適用前における今回修正予想連結売上高は61,500百万円となります。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、電力事業において「収益認識に関する会計基準」等の適用対象となる取引が想定より増加したことに伴い売上高は若干下振れしました。一方、取引収益は堅調であり、電力事業、環境・化学・機械事業において下期に予想していた大口案件の引渡時期が上期に前倒しとなったことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営業活動に関する販管費が抑制されたことなどから、営業利益は前回予想値を上回る見込みとなりました。また、受取配当金の増加もあり、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前回発表予想に対して増益の見込みです。

なお、通期業績予想に変更はございません。変更の必要が生じた際は速やかにお知らせいたします。

(注)本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上